

# 全日本特別支援教育研究連盟全国大会の次期開催のご案内



第58回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会 埼玉大会  
 第53回 関東甲信越地区特別支援教育研究協議会 埼玉大会  
 第59回 埼玉県特別支援教育研究協議会 さいたま大会

## 1 大会主題 「志をもち、未来社会を自立的に生きる子供たち」

～ 一人一人の教育的ニーズに応じる教育の充実を求めて ～

## 2 趣 旨

本大会は、我が国が批准した障害者の権利に関する条約が効力を生じて5年が経過し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育が進展する中、新学習指導要領の全面実施を直前に控えた節目に開催される。さらには、開催年は、全日本特別支援教育研究連盟が発足し70年という歴史を刻む年でもある。

また、本大会では、大会主題を「志をもち、未来社会を自立的に生きる子供たち」～一人一人の教育的ニーズに応じる教育の充実を求めて～とし、全国各地の皆様と研究協議を深め、特別支援教育のさらなる進展と充実に寄与する大会を目指している。

## 3 大会期日 平成31年(2019年)10月17日(木)・18日(金)

4 会 場	第1日 《全体会》	大宮ソニックシティホール大ホール
	《理事・評議員研究協議会》	大宮ソニックシティホール国際会議室
	《レセプション》	パレスホテル大宮
	第2日 《学校見学》	さいたま市内の小学校・中学校・特別支援学校 (シャトルバスを運行し、計6コースの学校見学を設定)
	《分科会》	大宮ソニックシティビル会議室

## 5 日 程 (予定)

時間	9:20	9:50	10:50	12:00	13:30	14:30	16:10	16:30	18:00	
第1日 10/17 (木)		受付	開会式 表彰式	研究 報告	昼食	行政説明 基調報告	全特連70周年 記念シンポジウム	閉 会 式	全国 理事・評議員 研究協議会	レセプ ション
第2日 10/18 (金)	受付	学校見学		昼食 移動	受付	分科会 ※		※分科会毎に 閉会行事を行い、散会		

### 《第2日 学校見学コース概要》

※さいたま市内の小中学校(特別支援学級、発達障害・情緒障害通級指導教室、難聴・言語障害通級指導教室)及び 特別支援学校等 (A～Dの4コースはバス運行、E・Fコースの2コースは徒歩移動の予定)

## 6 全特連70周年記念シンポジウム

テーマ「特別支援教育の未来を展望する～新学習指導要領と特別支援教育の実践研究を通して～」  
(仮題)

## 7 研究報告

- 全特連 三木安正記念研究奨励賞受賞者 未定
- 埼玉県代表者 埼玉県立特別支援学校羽生ふじ高等学園 教諭 松澤ゆかり 他  
「共に学ぶ、共に生きる」～合唱ミュージカルライオンキングの取組～

## 8 分科会 次頁参照

大会事務局 〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2-480 埼玉大学教育学部附属特別支援学校内  
 電話 048-663-6803 Fax 048-666-3670

実行委員長 埼玉県熊谷市立市田小学校 校長 山田 明  
 事務局長 埼玉県吉川市立美南小学校 校長 小山 悟  
 事務局次長 埼玉大学教育学部附属特別支援学校 教諭 加藤 和子

【分科会（分科会名・テーマ・討議の柱）】

No	分科会名	テーマ	討議の柱
1	学校経営	共生社会の実現を目指した学校経営	○教職員の資質向上・人材育成 ○インクルーシブ教育システムを推進する学校経営
2	特別支援教育コーディネーターの役割とセンター的機能	校内資源や地域ネットワークを生かした支援と連携	○合理的配慮・合意形成にかかる支援の在り方 ○特別支援学校のセンター的機能の充実
3	幼児期の特別支援教育と幼保小の連携	幼稚園や保育所における一人一人のニーズに応じた早期支援と就学支援	○早期からの就学支援の在り方 ○保護者への支援と関係機関との連携の在り方
4	各教科等を合わせた指導① (日常生活の指導・生活単元学習)	一人一人の意欲や生活する力を育む 日常生活の指導・生活単元学習	○基本的生活習慣の確立に向けた指導 ○地域や学校の特色を生かした学習展開の工夫
5	各教科等を合わせた指導② (作業学習)	一人一人の自立する力、働く力を育む 作業学習	○卒業後の職業生活につながる指導 ○地域や学校の特色を生かした作業学習
6	教科別の指導① (小学校段階)	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○資質・能力をバランスよく育成する指導 ○ICTを有効に活用した指導
7	教科別の指導② (中学校段階)	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○資質・能力をバランスよく育成する指導 ○ICTを有効に活用した指導
8	自立活動	一人一人の教育的ニーズに応じ、豊かな生活を支援する自立活動	○きめ細かな実態把握・評価に基づく指導計画 ○困難さの背景に着目した指導
9	通常の学級における児童生徒の支援と授業改善（小・中学校）	UDの視点を取り入れた発達障害のある児童生徒への指導と授業づくり	○合理的配慮に対応した学習環境整備と指導 ○すべての児童生徒に分かりやすい授業の工夫
10	高等学校における特別支援教育	高等学校における特別支援教育の推進	○合理的配慮への対応とニーズに応じた指導 ○高等学校における通級による指導
11	通級による指導 (発達障害・情緒障害)	通級指導教室における発達障害・情緒障害のある児童生徒への指導	○主体的に学ぶ意欲を伸長する指導 ○在籍校・保護者・関係機関との連携の在り方
12	難聴・言語障害のある児童生徒への指導	難聴・言語障害のある児童生徒への指導	○専門性を生かした指導 ○在籍校・関係機関との連携の在り方
13	自閉症の児童生徒への指導	知的障害と自閉症を併せ有する児童生徒への指導	○自閉症の特性を生かした指導・支援の工夫 ○一人一人のニーズに応じた指導計画の作成
14	重度・重複障害のある児童生徒の指導・支援	重度・重複障害のある児童生徒の理解と支援及び医療との連携	○障害の特性等に応じた指導上の配慮の充実 ○保護者・医療機関等との連携の在り方
15	キャリア教育	社会に開かれた教育課程の編成とキャリア教育	○卒業後を見据えた一貫した指導・連携の在り方 ○働く意欲を育むキャリア教育
16	交流及び共同学習	豊かな関わり合いの中で共に学び合う交流及び共同学習	○豊かな心を育む交流及び共同学習 ○異校種間における交流及び共同学習
17	健康・安全教育	生きる力を育む健康・安全教育	○健やかな心と体を育む指導の工夫 ○障害特性に応じた防災・安全教育の在り方
18	障害者スポーツ	障害者スポーツの推進・余暇活動の充実	○障害者スポーツの推進体制の在り方 ○生涯スポーツとしての障害者スポーツの在り方